

---

# ほんとはね。

詩音

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ほんとはね。

### 【Nコード】

N6982K

### 【作者名】

詩音

### 【あらすじ】

小学部からずっと一緒だった陸斗と私。

中学部2年になるときに行われたクラス替えで違うクラスへと。

そこで自分の気持ちに初めて気づく私と

そんな気持ちはこれっぽちも感じていない鈍感な陸斗の物語。

想いを寄せる人の前では、素直になれないもの。

それが、昨日までただの友達だと思っていたらなおさら。

それが、自分じゃない誰を見ていることが確実ならなおさら。

それが、あなただったらなおさら。

）．．．．．）．．．．．）．．．．．）．．．．．）．．．．．）

「陸斗！おはよー。」

「おう。詩音。」

「もうクラス替えの表見た？」

「いや。このとおり人がいっぱいまでまだ見れてねえよ。」

そう言っつて、目の前の人ごみを指差す陸斗。

陸斗とは小学部から一緒だった。

幼稚園のとき、いわゆるお受験をして入ったこの皐月原学園で。

兄弟？と、たずねられるほどの仲良しだったらしく、

お母さんから陸斗と私の小さかったころの話を何度もされている。

「今度こそ、陸斗と離れたい！」

「俺もだよ。朝からお前と同じ教室は飽きた。」

ずっとクラスは一緒。

行動するのも一緒。

中学部が上がってからは、私と陸斗が付き合っているんじゃないかという噂まで広まった。

もっとも、中学部から入ってきた子たちの勘違いだけ。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6982k/>

---

ほんとはね。

2010年10月15日22時38分発行